

第4回 大崎上島 HAPPY トライアスロン

(広島県大崎上島町)

報 告

日 時：2019年6月9日（日）
スタート：10時00分
参加者数：300人
距 離：スタンダード（オリンピック）ディスタンス 51.5 km

結 果：総合1位
総合タイム 2時間 07分 17秒
スイム 1.5km (2) ・ バイク 42km (1) ・ ラン 10km (1)
※ () 内はカテゴリー順位

先週の国体予選会の報告後から風邪が治らずピークを迎えた。病院へお世話になりながらゆっくり過ごした繋ぎの週となる。この大会はアンバサダーとして盛り上げる役がある。

前日のジュニアトライアスロンから前入りし仕事になる。声もしゃがれて鼻声でもあり少々ご迷惑だっただろうが、子どもたちやその保護者達と盛り上がった。前日開催のジュニアトライアスロンでは初心者向けで、まずはトライアスロンを知ってもらい、親にそそのかされて一応出てみた・・・というような子どもたち。低学年では泣いている子ども。これが後々語られ歴史になっていくのだと、ほほえましくも思う。そんなポジションのジュニアレースだ。その中でも中学生になると競技者で本気モードだ。その子らがこれから伸びていくことを期待する。

翌日が大人たちの出番。

スタンダードトライアスロンの距離で競う。開会式では盛り上げるために体調の件で後方発進すると宣言。しかし、スイムも落ち着いて（呼吸を乱すと危なかった）進行すると、今回のレベルでは2位へあがり、そのままバイクは進行した。それも安定した次元の違う走りだ。これはまた今週ある宮島国際パワートライアスロンを意識しているからであろう。その後のランは独走ではあったが、呼吸も併せて気持ちきつかった場面もあった。

名前の通り、この大会はアットホームで居心地の良い大会だ。多くの初心者、初挑戦も多く、ハッピーの名のごとき幸せなトライアスロンライフをスタートしてもらえたことを、この日から後の SNS の発信で多く見かける事が出来た。

そんな大会が第4回になり、ここから歴史が積みあがっていくのであろうことを感じつつアンバサダーとして携われることは光栄である。

また、今年から広島県肝入りの中高一貫校の叡智学園が開校し、そこの生徒たちも初めて島の大きなイベントへ参加したことになった。全国多くのトライアスロンレースが生まれているが、この雰囲気のままアットホームな大会であり続ける義務もあるのだと思えるのだ。

感謝 トライアスリート福元哲郎



